

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	科目分類	実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		90時間			
科目設置学科	アパレル造形科、技能科、専攻科	対象学年	本科2年・専攻科1年	前期			
教員	石川和男、リビ裕子、鷺典子	授業担当・外部講師	石川夏鈴				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
1-グループ内での話し合いの協調性 2-自己主張 3-デザインの発想力を養う 4- プрезентーション力を養う							
授業方法・形態							
ショー企画、全体会議、カテゴリー名を考える 卒業制作ショーデザイン画を制作、カテゴリーの理事長へのプレゼンテーション 実習80%、講義20%							
回	授業計画・内容	実施日程					
1	オリエンテーション	4月7日					
2	話し合いの協調性(ショー全体の説明、今回のショービデオ鑑賞、反省会意見交換、リーダー3専、3名)	4月14日					
3	カテゴリーとは（デザインジャンルで分ける、またその説明）	4月21日					
4	カテゴリーとは（デザインジャンルで分ける、またその説明）	4月28日					
5	カテゴリー毎分かれる、どのようなグループにするか話し合う	5月12日					
6	カテゴリー毎分かれる、どのようなグループにするか話し合う	5月19日					
7	ポートフォリオ制作（ラフ画を入れる）	5月26日					
8	ポートフォリオ制作（ラフ画を入れる）	6月2日					
9	ポートフォリオ制作（ラフ画を入れる）	6月9日					
10	デザイン画制作	6月16日					
11	デザイン画制作	6月23日					
12	デザイン画制作（最終カテゴリー確認）	6月30日					
13	カテゴリープレゼン資料作り	7月7日					
14	カテゴリープレゼン資料作り	7月14日					
15	カテゴリープレゼン資料作り	9月1日					
16	カテゴリー理事長プレゼン練習	9月8日					
17	カテゴリー理事長プレゼン	9月22日					
18	予備日	9月29日					
19	発想力を高める（デザインのポートフォリオ作る、サンプル、テーマ、アイディアソース、デザイン画）						
20							
評価方法・評価基準							
1-課題評価（話し合いの協調性、自己主張、デザインの発想力での評価）70% 2-授業姿勢（出席率、授業態度）30%							
教科書・参考書・資料・文献							
1-オリジナルプリント等							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
鷺典子-文化服装学院 ファッションデザイン専攻科30期卒業 (株)コシノ ジュンコデザインオフィスにて20年勤務（企画デザイナー、パターンナーとして） コスチュームデザイナーとしてオペラ、ミュージカル、ライブ等の衣装を手掛ける、舞台衣装に関する知識を豊富にもつ。	○

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	パターン製図	科目分類	実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		195時間			
科目設置学科	専攻科	対象学年	1年次	通年			
教員	大森正樹	授業担当・外部講師	大森正樹				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
パターン作成をする上での幅広い視野、柔軟な思考の取得を目的とし、今までの概念にとらわれないパターン、物作りをマドレーヌ・ヴィオネのドレスを題材として学ぶ。							
授業方法・形態							
マドレーヌ・ヴィオネのベーシックドレス1/4の縮尺パターンを数型配布して、シーチングで作成してもらう。 ミニトルソーに着せ付けて、パターンの形と出来上がったドレスのシルエットを理解する。 学生の進捗状況や理解度に応じて作成するドレスの難易度も対応できるようにする。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	オリエンテーション：自己紹介、次回からの講義内容の説明			4月11日			
2	ミニチュアドレス①作成（パターンの構造、バイアスカットの理解を深める）			4月18日			
3	ミニチュアドレス①作成（パターンの構造、バイアスカットの理解を深める）			4月25日、5月9日			
4	ミニチュアドレス②作成（パターンの構造、バイアスカットの理解を深める）			5月16日			
5	ミニチュアドレス②作成（パターンの構造、バイアスカットの理解を深める）			5月23日			
6	A教室ツール組みの実演（実技試験のポイントを説明）B教室ミニチュアドレス③作成			5月30日			
7	A教室ミニチュアドレス③作成 B教室ツール組みの実演（実技試験のポイントを説明）			6月6日			
8	ミニチュアドレス3体の完成を目指す			6月13日			
9	ミニチュアドレス完成者は実物大のドレスをシーチングで作成（6名程度）			6月20日			
10	作業が遅れている学生はミニチュアドレス④作成（より理解を高める）			6月27日			
11	ミニチュアドレス完成者は実物大のドレスをシーチングで作成（6名程度）			7月4日			
12	実物大のドレス完成			7月11日			
13	前期ショー			7月18日、25日			
14	縫製工場等の動画、後期授業に向けての説明			9月5日			
15	マニピュレーション①作成（パターン作図、デザインを考える）*後期授業へ徐々にシフト			9月12日			
16	マニピュレーション①作成（パターン展開、裁断、縫製）*後期授業へ徐々にシフト			9月19日、26日			
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
ミニチュアドレス3体の提出 パターンの理解度、提出物の完成度を評価の基準とする							
教科書・参考書・資料・文献							
『Vionnet』ベティ・カーケ著 『VIONNET』文化出版局							
担当教員の経歴・実務経歴				実務者教員			
東京服飾専門学校 卒業 株式会社イッセイミヤケ・株式会社エイネットで30年以上の実務を担当し、パターン製図に関する知見を豊富にもつ。				○			

東京服飾専門学校 授業計画シラバス

授業科目名	パターン製図	科目分類	実習			
必修・選択	必修科目	単位時間数		195時間		
科目設置学科	専攻科	対象学年	1年次	通年		
教員	大森正樹	授業担当・外部講師	大森正樹			
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術						
今まで得た知識をベースにより高度な製図方法を用いて美しいシルエットを研究。マニピュレーション作業のテクニックを習得し、人体と布の調和を考える。						
授業方法・形態						
パターン作りのベースになっている原型のダーツを利用して、自由に入れた切替えのラインに変換してオリジナルのデザインを作り直す。理解力に応じて難易度を調整して2体目を作成。（自力で考える）卒業制作の作品に利用できるテクニックを学ぶ。						
回	授業計画・内容	実施日程				
1	マニピュレーション②作成（自力でパターン作図、デザインを考える）	10月3日				
2	マニピュレーション②作成（自力でパターン展開、裁断、縫製）	10月10日				
3	マニピュレーション②作成（自力でパターン展開、裁断、縫製）	10月17日、24日				
4	課題となる2体の完成を目指す	10月31日、11月7日				
5	様々なパターンの展開を知り、知見を広げる（卒業制作の作品のヒントを模索する）	11月14日				
6	仮縫い時の補正とパターン修正の方法を習得（卒業制作に反映できるテクニックを学ぶ）	11月21日				
7	卒業制作の準備	11月28日				
8	卒業制作作業	12月5日～1月30日				
9	FS期間	2月6日～27日				
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
評価方法・評価基準						
原型2体の完成 パターンの理解度、提出物の完成度を評価の基準とする						
教科書・参考書・資料・文献 『パターンマジック』文化出版局						
担当教員の経歴・実務経歴						
東京服飾専門学校 卒業 株式会社イッセイミヤケ・株式会社エイネットで30年以上の実務を担当し、パターン製図に関する知見を豊富にもつ。			実務者教員 ○			

授業科目名	高度服飾造形	科目分類	実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		595時間			
科目設置学科	専攻科	対象学年	1年次	通年			
教員	山下 節子	授業担当・外部講師	山下 節子				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
各々の目的を持つ服飾デザインに対してよく理解し、製図力、構成力、素材への知識等が要求されるので軽衣料、中衣料、重衣料を扱って立体的感覚の表現力、技術の向上を目指していきます。							
授業方法・形態							
参考作品の展示、板書及び部分制作の解説、個別指導。							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	Yシャツ制作 (テクニカル科)			4月8日～5月15日			
2	春夏コレクションコピー制作 (デザイナー、パタンナー科)			4月10日～5月15日			
3	ドルマンスリーブトツル制作			5月20日～5月29日			
4	前期ショート制作			6月3日～7月24日			
5	ピギーズ制作			9月2日～9月30日			
6	オーバーコート制作 (1)			9月2日～9月30日			
7	オーバーコート制作 (2)			10月1日～12月23日			
8	卒業制作			12月24日～1月29日			
9	FS期間			2月3日～2月26日			
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
評価方法・評価基準							
底面製図、課題提出 (ツール作品、实物作成作品)							
教科書・参考書・資料・文献							
本学校教科書、本校1, 2年生基礎課程ファイル、アイテム別参考書、ファッショントレンド誌							
担当教員の経歴・実務経歴				実務者教員			
専門学校、大学卒業、教員免許取得済、服飾教育実務歴65年							

授業科目名	ニット & テキスタイル	科目分類	講義・実習				
必修・選択	必修科目	単位時間数		35時間			
科目設置学科	専攻科	対象学年	1年次	後期			
教員	花園 和年	授業担当・外部講師	中山 美代子				
授業の概要、科目のねらい・到達目標・習得技術							
配色変更ソフト「APEX FIZ」の使用法を習得し、実際にサンプルを作成せずにニット、丸編み、テキスタイル、プリントの柄、配色を変更してイメージ確認することにより試織、試編、試染の無駄、タイムロスを省きSDGsへの貢献をはかる。この技術をECにも活用、サンプルを全色作成せずECカタログ完成の方法を学ぶ。							
授業方法・形態							
講義50% 実習50%							
回	授業計画・内容			実施日程			
1	基本操作			10月3日			
2	ニットデザイン（ボーダー、ジャガード）			10月10日			
3	ニットデザイン 糸登録とニットデザインの流れ			10月17日			
4	運動会			10月24日			
5	臨時休校			10月31日			
6	製品イメージ作成			11月7日			
7	丸編みデザイン基本操作、ボーダー、ジャガード、画像変換			11月14日			
8	丸編みデザイン 糸登録とニットデザインの流れ			11月21日			
9	丸編みデザインカラーマネージメントシステム			11月28日			
10	織物デザイン 基本操作			12月5日			
11	織物デザイン チェック柄 ドビー柄 ジャガード柄作成			12月12日			
12	糸登録と織物デザインの流れ			12月19日			
13	プリントデザイン 基本操作 ボーダー/ストライプ 水玉柄の作成 製品イメージ作成			1月9日			
14	ECデザイン			1月16日			
15	後期終了テスト			1月23日			
16	ショ一準備期間			1月30日			
17	ショ一準備期間			2月6日			
18	ショ一準備期間			2月13日			
19	ショ一本番			2月20日			
20	ショ一片付け			2月27日			
評価方法・評価基準							
各項目に標準点をおき、「履修意欲・習熟度」100ポイント、「課題評価」100ポイント、「試験成績」100ポイントとして、その平均点を算出し評価を行う（出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は留年。）							
教科書・参考書・資料・文献							
APEX FIZ検定・解説マニュアル							

担当教員の経歴・実務経歴	実務者教員
島精機製作所勤続20年 APEX FIZプロモーション担当	○